

自宅で働く人のお手伝い

SOHOだより

2012年8月
第4号

特定非営利活動法人 埼玉SOHO

北本市中央1-141 高松ビル2F

TEL 048-593-0077

http://www.soho-salon.com

**会費納入と利用
会員募集のお願い**

正会員のみなさんには、平成二四年度のNPO会費の納入をよろしく願います。

SOHOの施設を利用したり、ワンポイント・アドバイスを受けて勉強したい（PC寺子屋）という方には、利用会員（年会費三六〇〇円）の制度があります。ぜひ利用会員となつていただき、一緒に勉強、活動をしてゆきましよう。

「初めてのiPad」講座を開催

七月十九日（木）午後、北本市文化センター第2研修室で、やさしいIT講座「初めてのiPad」を開催、一三人が受講しました。

講師陣は、久保田さん、遠藤さん、中山さんの三人に無線LAN担当で内田さんが参加。

講座開始の一五分前には大半の受講生が席に。当日、予約無し飛び入りもあり、急きよ机を増やす一幕もありました。

最初に内田さんから開講のあいさつと講師陣の紹介があり、早速、久保田さんがプロジェクトを使い、iPadとは何か？何ができるのか？ボタンの名前と位置、機能などを説明。遠藤

さんと中山さんは、iPadを手に、受講生の近くで視覚を補助しました。

さらに教室内を動画に撮り、プロジェクトで観たり、遠藤さん、中山さんが廊下に出て室内の久保田さんとテレビ電話をしたり、メモ帳に音声で入力、そのメモを送信するなど実際に使う様子を実演しました。

一〇分間の休憩の後は、四つのグループに分かれ、iPadに直接触れながら、その特徴を知る時間（写真上）です。

受講生の興味の一つは、地図情報を検索することのようで、地名を入力し、経路を調べたりしていました。なかには早速、



ゲームを開いて遊びだす組もありました。



受講後のアンケートには「とても楽しかった」「全くの初心者だが、五〇%くらい理解できた」「シニアはメカに弱い。なんとか若者についてゆきたい」という感想や、「ツイッターを」「写真をムービーに」「アルバム作成を」学びたいという次の企画への注文もありました。

当日は、講座を広報で知った「PC教室はよくあるが、iPad講座は珍しい」とタウン紙・埼玉中央よみうりのレポーターが取材に来て、休憩時間に受講生の感想を聞くなど（写真右）していました。

平成24年度総会が開かれる

NPO法人・埼玉SOHOの平成二四年度総会が、七月二一日（土）にコミュニティセンターで開催されました。

当日は、一人が出席、九人が委任状での参加でした。

総会は黒沢さんを議長に選出した後、議事録作成人に小笠原さん、議事録署名人に薄衣さん、北村さんを指名して始まりまし

た。冒頭、高橋さんから「坂本理事長が体調がすぐれず欠席のため、代理で報告したい」との話の後、鈴木さんから「会計報告の合計に計算ミスがある」と訂正がありました。

続いて高橋さんから平成二三年度の事業報告と会計報告があり、質疑に入りまし。延べ七人の方から質問や意見が出され

シニア情報生活

アドバイザー養成講座

シニア情報生活アドバイザーとは、高齢者がパソコンやインターネットを利用して、より楽しく活動的な生活が送れるよう支援し、リーダーになることを期待した制度です。

日程 9月29日（土）から10月21日（日）までの毎週土・日曜日（計8回を予定）

認定試験 10月27日（土）会場 埼玉SOHO・オープンスペース

対象 おおむね50歳以上で、日常的にパソコンを活用し、電子メールを利用している人

内容 養成講座は講習と認定試験があり、試験に合格すると認定証を交付。

費用 32,500円（受講料、教材費、試験料）

その後これを全員一致で承認。次いで平成二四年度予算案が提案され、質疑の後これも全員一致で承認しました。

質疑のなかで「SOHOの収益にはならないが、南小や谷足で開いているPC教室は、シニア・アドバイザーの人たちの協力で多くの市民に喜ばれている。こうした活動も大いに評価しよう」との意見も出されました。

ホームページ紹介

北本市社会福祉協議会

北本市社会福祉協議会のホームページは、平成一八年から、埼玉SOHOが企画・制作・更新を行っています。公的機関は、必要な広報とはいえ、大きな経費をかけられないので、地元のNPO法人である、私たち埼玉SOHOが受託しています。最初の二年間は、まず量的な充実を図ることが必要でした。実際、市民の方々へお伝えすべき情報は多岐にわたったり、大変な作業量になりました。その後、他市に先駆けて、携帯電話でもホームページが見られるように、携帯サイトも基本的な情報はほとんど盛り



介護予防フィットネス「あゆみ」

込み、県内でも最も充実したサイトになっています。また、全体ばかりでなく、六支部の事業報告・収支報告も平成一九年度まで遡れるようになっていきます。技術面では、PHPを活用して、財源構造などのグラフ



要介護になってからではなく、介護予防こそが大切だとの考えに基づいて始められた事業が介護予防

化されているデータが、パソコンサイトも携帯サイトも一元管理されているという特徴があります。
【北本市社会福祉協議会とは】
障害者や高齢者の健康福祉向上の支援を行う公的な団体

です。市役所とは人的交流も含めて、密接に連携して活動しています。拠点となる総合福祉センター(高尾1丁目/西口大通り)は北本市が建設し、指定管理者として社会福祉協議会が運営委託を受けています。

フィットネス「あゆみ」です。平成二三年七月に一号店が上尾に開設されました。今年七月に鴻巣店が開設されました。介護予防フィットネス「あゆみ」を運営する磯部クオリティサービスの磯部知彦社長とお付き合いは、平成一八年に、自然食レストラン「テイア野のすみれ」のホームページ開設を依頼されたことから始まりました。

その後、もともと運営していた北本の「やわらかとんかつ彦家」、鴻巣の「やわらかとんかつとん兵衛」のホームページの企画・制作も依頼され、今回の「あゆみ」もお手伝いすることになりました。業種が異なるようですが、磯部さんのキーワード「健康」で、繋がっているようです。